

りす組（2歳児）

目標

生活や遊びを通して保育者や友達と楽しかった体験や大好きな絵本を通してイメージを共有して遊び、言葉のやり取り“みたて・つもりあそび”を楽しむ。

2歳児クラスは、“散歩”“全身運動を使う遊び”“手指を使う遊び”“みたて・つもり遊び”を大切な遊びと捉えて生活や活動を取り組んできました。特にみたて・つもり遊びは、想像力・言語力・社会性・認識面などを土台に展開していく大切な遊びです。

4月当初は、お友達同士の関わりよりも保育者への関わりが多い子ども達でしたが、園庭遊びや散歩、プール遊び、運動会などの体験を通し「楽しかったね」「またやろうね」とお友達の会話も増え今では、「〇〇一緒にだるまさんが転んだやろう」と友達を誘って遊ぶ子ども達です。

みたて・つもり遊びでは保育者も“〇〇のつもり”になりき遊びこむことで、子どもとイメージを共有し、大好きな絵本や紙芝居の世界の一場面を再現して、〇〇に変身して遊んでいます。変身して遊んでいる所へ対立物に変身した保育者が登場すると「〇〇でやっつけよう」と知恵を出し合い保育者へ立ち向かう姿も見られるようになってきました。



生活の中では“依存しつつ自立へ”と向けて取り組んできました。衣服の着脱やボタンはめ等も遊びこんできた力を土台に“自分で”と見通しを持って行動できるようになってきました。保育者が見守る中で、「みてよ～」とズボンを立てて履いて見せたり、午睡は「一人で寝眠れるよ」と保育者が側につかなくても眠りについたり、お当番では、「先生はついてこないで、自分で行ってくるから」と向かう姿が見られたり、「1番になりたいから!」と帰る準備をサッと済ませる子の姿が見られます。

中には、「先生と～」と甘える子もいますが、「できるよ、やってみて」、「ここは手伝ってあげるから、こっちはやってね」などと受け止めながら自分でやることを促し、一人ひとりが“自分でできた”との思いを持たせるようにしています。自信家の3歳児に向け残り少ないりす組生活を子ども達が楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。



【18匹の愉快的シラサギ】



絵本が大好きなりす組さん。散歩では、絵本のストーリーや登場人物が出てくるうそこの世界を楽しんでいます。散歩先でシラサギに出会い「シラサギ、魚食べるためにゆっくり歩いているね」、「何で首ピンとしているのかな?」「遠く見るためだよ」などと会話をしながら観察する機会がありました。その後みんなでシラサギに変身して遊びを展開してきました。今日は、シラサギに変身して散歩に行く!というみたてつもり遊びをします。散歩の途中に相対するものが出てくるとどうなるのか…。保育者の声かけを通して体験したことを思い起こしたり、子ども達の発する言葉一つでどんな風に話が展開するのか、保育者も臨機応変に対応できるのか…。ドキドキしながら遊びをすすめていきます。子ども達の表情や動き、友達や保育者と楽しく関わる姿をご覧ください。

